

地域県土警察常任委員会資料

(令和5年8月21日)

[件 名]

- 令和5年度普通交付税（市町村分）の交付額について
【市町村課】・・・2ページ
- 「伸びのびトーク in 日野町」の開催結果について
【県民参画協働課】・・・4ページ
- 「未来構想キャンプ2023 in 鳥取（日南町）」の開催結果について
【県民参画協働課】・・・5ページ
- 「ソーシャルイノベーション合宿」の開催結果について
【県民参画協働課】・・・6ページ
- 「第2回多様な性を認め合う社会づくり研究会」の開催結果について
【人権・同和対策課】・・・7ページ
- 三上紗也可選手（水泳・飛込）のパリ五輪出場内定について
【スポーツ課】・・・9ページ
- ねんりんピックはばたけ鳥取2024公式 You Tube チャンネルの開設について
【ねんりんピック・関西ワールドマスターズゲームズ推進課】・・・10ページ
- 鳥取県西部総合事務所3号館・米子市役所糶町庁舎の竣工について
【西部総合県民福祉局】・・・11ページ

地域社会振興部

令和5年度普通交付税（市町村分）の交付額について

令和5年8月21日
市 町 村 課

7月28日、総務大臣により、令和5年度普通交付税の交付額が決定されました。
本県における市町村分の交付額等の概要は以下のとおりです。

1 令和5年度普通交付税（市町村分）の交付額の概要

普通交付税の算定において、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税は889億円となり、前年度（当初算定分）に対して△4.1億円となった。前年度（当初算定分）との比較においては全国値△2.1%に対して、本県は△0.5%となった。

<本県の決定額>

（単位：千円、%）

区分	普通交付税額				普通交付税額+臨時財政対策債(※)発行可能額			
	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 C(=A-B)	増減 率 D(=C/B)	令和5年度 E	令和4年度 F	増減額 G(=E-F)	増減率 H(=G/F)
市	41,133,394	40,726,804	406,590	1.0%	42,555,268	43,265,644	△710,376	△1.6%
町村	46,073,994	45,410,253	663,741	1.5%	46,374,809	46,070,984	303,825	0.7%
市町村分計	87,207,388	86,137,057	1,070,331	1.2%	88,930,077	89,336,628	△406,551	△0.5%
(参考)県分	143,126,131	141,771,523	1,354,608	1.0%	144,234,514	144,857,860	△623,346	△0.4%

※臨時財政対策債：地方一般財源の不足に対処するための特例地方債（後年度の普通交付税で全額措置予定）

※令和4年度の数値は当初算定分であり、再算定分は含まない。

2 本県市町村分の主な増減理由

(1) 主な増減理由

○ 基準財政需要額（臨時財政対策債振替前） 1,561億円（+13億円）（+0.8%）

[増加要因]

- ・ 包括算定経費の増 +6.8億円
- ・ 高齢者保健福祉費の増 +5.6億円

○ 基準財政収入額 671億円（+18億円）（+2.7%）

[増加要因]

- ・ 地方消費税交付金の増 +12.2億円
- ・ 固定資産税の増 +6.1億円

(2) 増減率の大きい団体 ※臨時財政対策債発行可能額を加えたもので前年度と比較

- 日吉津村 +6.3%：社会福祉費、包括算定経費（人口）の増、固定資産税（償却）、市町村民税所得割の減 等
- 境港市 △4.0%：公債費の減、固定資産税（償却）の増 等
- 伯耆町 △3.2%：社会福祉費、公債費の減、地方消費税交付金、固定資産税（家屋）の増 等

【参考】県分の交付額の概要

普通交付税の算定において、臨時財政対策債を含めた実質的な普通交付税は1,442億円となり、前年度（当初算定）に対して△6億円となった。

<県分の主な増減理由> ※臨時財政対策債発行可能額を加えたもので前年度と比較

○ 基準財政需要額の増 +3億円

個別算定経費の増（+10億円）、包括算定経費の増（+5億円）、公債費の減（△12億円）等

○ 基準財政収入額の増 +10億円

地方消費税の増（+13億円）、法人事業税の減（△4億円）等

【市町村別普通交付税額】

(単位:千円)

区 分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額				(参考)
	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 C(=A-B)	増減率 D(=C/B)	令和5年度 E	令和4年度 F	増減額 G(=E-F)	増減率 H(=G/F)	令和5年度 臨時財政 対策債発 行可能額
県 分	143,126,131	141,771,523	1,354,608	1.0%	144,234,514	144,857,860	△ 623,346	△0.4%	1,108,383

鳥取市	21,512,265	21,105,146	407,119	1.9%	22,471,501	22,622,566	△ 151,065	△0.7%	959,236
米子市	9,370,234	9,302,941	67,293	0.7%	9,680,174	9,977,669	△ 297,495	△3.0%	309,940
倉吉市	7,100,351	7,115,357	△ 15,006	△0.2%	7,190,339	7,318,113	△ 127,774	△1.7%	89,988
境港市	3,150,544	3,203,360	△ 52,816	△1.6%	3,213,254	3,347,296	△ 134,042	△4.0%	62,710
岩美町	3,141,865	3,047,119	94,746	3.1%	3,162,863	3,092,615	70,248	2.3%	20,998
若桜町	1,960,399	1,928,960	31,439	1.6%	1,968,741	1,947,101	21,640	1.1%	8,342
智頭町	3,117,221	3,039,625	77,596	2.6%	3,133,261	3,075,358	57,903	1.9%	16,040
八頭町	4,955,948	4,913,810	42,138	0.9%	4,984,461	4,976,837	7,624	0.2%	28,513
三朝町	2,310,809	2,260,159	50,650	2.2%	2,324,734	2,290,330	34,404	1.5%	13,925
湯梨浜町	4,295,380	4,192,668	102,712	2.4%	4,324,255	4,255,268	68,987	1.6%	28,875
琴浦町	4,293,869	4,203,126	90,743	2.2%	4,325,615	4,272,274	53,341	1.2%	31,746
北栄町	3,570,196	3,549,885	20,311	0.6%	3,596,591	3,606,802	△ 10,211	△0.3%	26,395
日吉津村	763,733	697,378	66,355	9.5%	779,623	733,583	46,040	6.3%	15,890
大山町	4,665,936	4,738,861	△ 72,925	△1.5%	4,697,336	4,807,131	△ 109,795	△2.3%	31,400
南部町	3,154,436	3,082,089	72,347	2.3%	3,174,796	3,126,491	48,305	1.5%	20,360
伯耆町	3,449,248	3,531,318	△ 82,070	△2.3%	3,473,139	3,587,786	△ 114,647	△3.2%	23,891
日南町	2,948,592	2,899,501	49,091	1.7%	2,962,443	2,928,737	33,706	1.2%	13,851
日野町	1,924,098	1,874,648	49,450	2.6%	1,933,433	1,894,819	38,614	2.0%	9,335
江府町	1,522,264	1,451,106	71,158	4.9%	1,533,518	1,475,852	57,666	3.9%	11,254
都市計	41,133,394	40,726,804	406,590	1.0%	42,555,268	43,265,644	△ 710,376	△1.6%	1,421,874
町村計	46,073,994	45,410,253	663,741	1.5%	46,374,809	46,070,984	303,825	0.7%	300,815
県 計	87,207,388	86,137,057	1,070,331	1.2%	88,930,077	89,336,628	△ 406,551	△0.5%	1,722,689

全国の決定額

(単位:億円)

区 分	普通交付税決定額				普通交付税決定額+臨時財政対策債発行可能額				(参考)
	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 C(=A-B)	増減率 D(=C/B)	令和5年度 E	令和4年度 F	増減額 G(=E-F)	増減率 H(=G/F)	令和5年度 臨時財政 対策債発 行可能額
道府県分	92,089	91,042	1,047	1.2%	97,400	100,586	△ 3,186	△3.2%	5,311
市町村分	80,506	78,662	1,844	2.3%	85,141	86,924	△ 1,783	△2.1%	4,635
計	172,594	169,705	2,891	1.7%	182,540	187,510	△ 4,970	△2.7%	9,946

*表示単位未満四捨五入しているため、項目ごとの数値と合計は一致しない。

「伸びのびトーク in 日野町」の開催結果について

令和5年8月21日
県民参画協働課

県民の皆様（住民・NPO法人・経済団体・地域活性化等に取り組む団体等）と行政関係者等が、その地域が直面する課題などについて意見交換を行う「伸びのびトーク」を日野町で5年ぶりに開催しました。

- 1 日時 令和5年8月18日（金） 午前10時から11時まで
- 2 場所 旧・黒坂小学校（日野町黒坂1560-1）
- 3 参加者 黒坂フェスタの会 代表 梅林敏彦氏
（12名） 黒坂連合区 坪倉敏氏
日野町長、副町長、総務課長、企画政策課長、中山間地域振興監
知事、地域社会振興部長、輝く鳥取創造本部長、西部総合事務所長、日野振興センター所長
- 4 意見交換のテーマ・主な意見等

テーマ 「地域づくりと地域社会の維持」

〔主な意見等〕

（黒坂地区の取組等）

- ・黒坂地区に再び賑わいを取り戻すため、令和元年10月に黒坂フェスタを初開催して以降、コロナ禍であっても規模を縮小して継続して開催してきた。その成果もあり、若い女性やITの専門家など徐々に協力者も増えてきた。
- ・昨年、日野高校の寮の生徒が参加し、これをきっかけに地域づくりを目的とした任意団体「みらいず」が結成され、高齢者向けスマホ教室の開催などを継続して実施している。
- ・地域の高齢者の困りごとの一つが運転免許の更新。米子市内の自動車学校で講習を受ける必要がある。地元で更新できる方法を検討してほしい。免許を更新するか返納するかでこれからの生き方が変わってくる。

（移動販売事業）

- ・移動販売には拠点となる母店が必要だが、母店は地域のスーパーとしても存続が求められている。移動販売だけでなく母店の安定した運営も求められる。
- ・町からは、委託料のほか店舗運営費の支援等を受けているが、燃料や物価の高騰や従業員の給与などが事業全体の経営難に拍車をかけているため、中山間地域の買い物対策にご支援を頂ければうれしい。

〔知事発言〕

- ・黒坂フェスタの取組や若い人の力を導入することは、定住の促進や少子化対策に役立つものと思われるので、モデル的なプロジェクトとして協調させていただきたい。
- ・買い物事業は、設備の維持や更新に経費がかかり一定の収益を上げないと自転できないので、地域で支えていくことも考えていかなければならない。
- ・県の買い物支援は自由度の高いものとしているので、日野町で買物環境確保計画を策定していただければ、県も一緒に支援していきたいのでぜひ活用してほしい。
- ・高齢者の免許更新については、意見があったことを県警本部に伝えさせていただく。

【意見交換の様子】



○伸びのびトークの開催状況

平成30年度：3回
伯耆町・大山町・若桜町
平成29年度：5回
北栄町・湯梨浜町・南部町・日南町・江府町
平成28年度：1回、平成27年度：5回

〔日野町での過去の開催概要〕

開催日：平成28年8月11日、会場：黒坂小学校
テーマ：学校、保護者、地域の連携と地域の活性化について
開催日：平成22年7月23日、会場：日野町役場
テーマ：日野町における元気な地域づくりの取り組み

「未来構想キャンプ2023 in 鳥取（日南町）」の開催結果について

令和5年8月21日
県民参画協働課

県及び慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）の共催により、高校生が地域課題解決をテーマとして大学の知的活動の本質を体験する「未来構想キャンプ2023 in 鳥取（日南町）」を下記のとおり開催しました。

このキャンプを契機に、県内地域を地域課題の調査研究・実証の場として開放し、学術機関や企業など多様な主体の協働・連携の促進及び地域課題の解決へつなげていきます。

記

1 「未来構想キャンプ2023 in 鳥取（日南町）」の概要

- (1) 期 間 令和5年8月2日（水）から4日（金）まで（2泊3日）
- (2) 場 所 日南町役場、日南病院、日南町健康福祉センター、ゆきんこ村四季彩ほか町内施設
- (3) 参加者 高校生15名（うち県内4名、県外11名）
慶應義塾大学環境情報学部 高汐一紀研究室及び関係者11名
鳥取県、日南町関係者（自治体、病院等） 等

(4) 内 容

日南町の医療・リハビリ関係者や鳥取大学、県内外の企業等の協力を得て、「ヘルスケア×デジタル技術」をテーマとした地域課題解決手法の調査研究、実証（フィールドワークやワークショップなど）を実施しました。

<高校生（4グループ）の発表内容>

- ① ロボットを活用した高齢者等の見守り・コミュニケーション支援
対話可能なロボットを活用し、独居の高齢者等の会話促進を図りつつ、表情や声色など非言語的な情報から体調の異常を検知し、緊急時に通報等を行うシステムの構築
- ② 身近な日用品を活用した仮想コミュニケーション
観葉植物など身近な日用品を擬人化し、療養者の話し相手となり孤独感の軽減と症状把握につながるシステムの構築
- ③ 遠隔でのリハビリを支援する皮膚感覚の再現（触覚ディスプレイ）
遠隔地の理学療法士等が在宅療養者の筋肉の動きについて確認等を行うシステムの構築
- ④ 遠隔でのフレイル対策を可能とする仮想現実システム（XR技術）
遠隔の指導者とサービス利用者がその場に居合わせるようなコミュニケーションを可能とし、フレイル予防の体操等を日常的に行えるシステムの構築

<参加者の感想>

- ・ロボットやデジタル技術の助けを得ながらも、地域や人間の温かさを失わないようにしたい。（高校生）
- ・在宅ケア等では医療従事者に蓄積された長年の経験が頼りである。デジタル技術でこうした情報を適切に収集、蓄積することができれば、実用性あるシステムになると思う。（病院関係者）



成果発表会

2 今後の予定

- 令和5年 9月～ 地域での実証等に向けたブラッシュアップ
10月～ 地域及びステークホルダーと課題解決アイデアの実証
令和6年 2月 成果報告

「ソーシャルイノベーション合宿」の開催結果について

令和5年8月21日
県民参画協働課

日本財団との共同プロジェクトによる、地域を担う若い人材を育成する取組の理念を引き継ぎ、県内の高校生、大学生等を対象とした「ソーシャルイノベーション合宿」を開催しました。なお、対面での開催は今回が初めてとなります。

1 日時 令和5年8月8日（火）～8月9日（水）（1泊2日）

2 場所 県立大山青年の家（西伯郡大山町赤松明間原 312-1）

3 参加者 23名（大学生7名、高校生等16名）

4 内容

地域で活躍されている活動者をゲストスピーカー及びアドバイザーとして迎え、用意されたワークシートに自身の状況や大切にしたい思い等を書き込んでいき参加者と共有する過程で、自分のやりたいことを見つけ、同じ思いを持つ仲間と出会えるプログラムを実施しました。

(1) ゲストスピーカートーク（山陰放送アナウンサー 森谷佳奈さん）

- ・現在の職業に就いた経緯や思い
- ・苦手分野にあえて挑戦することで自分の自信につながる
- ・「やりたいこと」がなければまずは「好きなこと」を見つけること

(2) アドバイザーとの交流

「やりたいこと」を見つけるヒントを得るため、アドバイザーと少人数で対話
＜アドバイザー＞

- a) 石谷依利子さん（鳥取砂丘を舞台に事業を展開する砂丘 YOGA 代表）
- b) 井上可奈子さん（地域内外の交流事業を推進するゲストハウスてま里オーナー）
- c) 宇佐美孝太さん（ドローンの活用等で地方創生事業を展開する株式会社 skyer 代表）
- d) 佐々木正志さん（大山で観光事業を展開する合同会社 sunsunto 代表）

(3) グループワーク①

- ・自らのこれまでの人生を振り返り、元気が出た場面や失った状況を確認
- ・これから仕事を選択するうえで重視すること、選んだ理由を確認

(4) グループワーク②

- ・現在の自分の状況と過去の自分の状況を見比べて価値観や強みを整理
- ・理想像と理想に向けた行動をまとめ、参加者同士で共有

(5) 発表・振り返り

- ・アドバイザーとの交流やグループワークを通じて見つけた思いを発表
- ・発表に対する応援メッセージを寄せ書きの形で交換



発表の様子

5 参加者の声

- ・自分の芯となる考え方を見つけるヒントになった。
- ・ゲストの方や参加者など、様々な人と関わることで刺激を受け、自分のやりたいことへのエネルギーとなった。
- ・参加者との交流やワークの中で、自分の価値観に気づくことができたので、それを活かした活動をしていきたい。

「第2回多様な性を認め合う社会づくり研究会」の開催結果について

令和5年8月21日
人権・同和対策課

性的マイノリティの方にとってより暮らしやすい社会にするための施策のあり方について研究するため、「第2回多様な性を認め合う社会づくり研究会」を開催し、第1回研究会での当事者からの御意見を踏まえて作成した制度案等を提示し、改めて当事者の方等に御意見を伺いましたので、その概要を報告します。

1 これまでの経緯

- ・令和5年6月議会において、性的マイノリティの方々それぞれの状況に寄り添い、より暮らしやすい社会にするための施策のあり方について研究を行うための補正予算を計上いただいた。
- ・令和5年7月11日に当事者、有識者等に参加いただき第1回の研究会を開催し、「他の自治体で取り組んでいるパートナーシップ制度的なものはあった方がよい」「届出制度とか電子申請とか そういうことができればいい」「情報を知っている人は少なければ少ないほどありがたい」「関係性を容易に説明できるカードのよなものを持っておきたい」等の意見があった。

2 第2回多様な性を認め合う社会づくり研究会の概要

(1) 日 時 令和5年8月1日(火) 15:00~16:30

(2) 場 所 倉吉未来中心セミナールーム2

(3) 出席者 (11名)

<当事者> 田中或(活動名)氏(県内在住、当事者団体「ゆるしか」主宰)、あさ(仮名)氏(県内在住)、クワ(仮名)氏(県内在住)、ゆう(仮名)氏(県内在住)、真翔(まこと・仮名)氏(県内在住)、小川奈津己(活動名)氏(元県内在住当事者、現在埼玉県在住)

<有識者> 井上菜穂氏(臨床心理士、鳥取大学教育支援機構学生支援センター准教授)

<労働関係> 寺田真里氏(日本労働組合総連合会鳥取県連合会副事務局長)

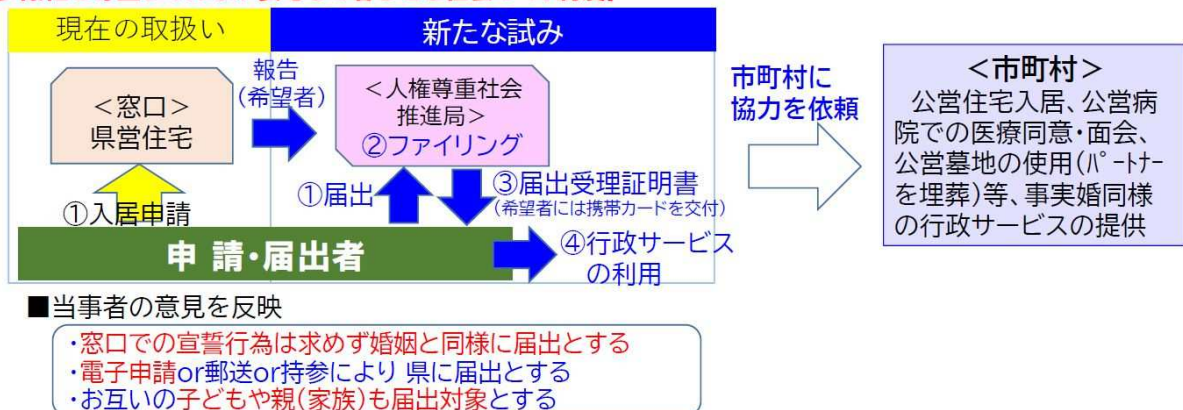
<行政> 小川孝氏(鳥取市中央人権福祉センター副所長)、小川博史氏(境港市総務部次長兼総合政策課長)、本庄大志氏(鳥取県教育委員会事務局人権教育課係長)

(4) 主な当事者の意見等

- ・制度ができるのはありがたい。当事者が使う場合の対応の仕方について窓口等に具体的な周知が必要と思う。
- ・ファミリーシップがいいと思っている。パートナーに子どもがいるので子どもも含めてほしい。親の介護の場面でも適用される。
- ・異性婚は届出となっているので、宣誓より届出にするのがよいと思っており、制度案も届出でよいと思う。
- ・申請の仕方は電子申請ができるのが一番よい。あと、もし、窓口に行く場合には、二人で行くことを必須とするのではなく、どちらか一方が行けばよいということにすれば、鳥取独自でよいのでは。
- ・仮に制度を使うという人がいなかったとしても、制度はあったほうがよい。使われる可能性は低くても、制度を作るというのはあなたたち(当事者)を無視していないという姿勢につながるのでは、意義のあることだと思う。

3 第2回研究会の意見を踏まえた現在の制度案

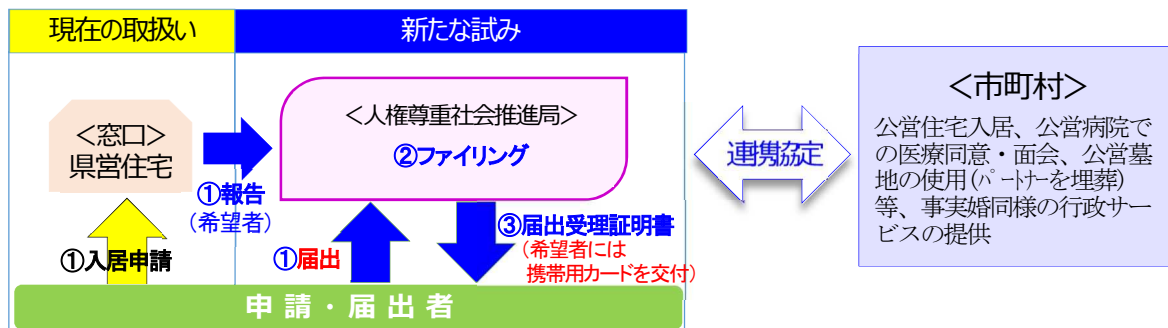
[性の多様性を尊重しみんなが安心して暮らせる社会づくり制度]



<第2回多様な性を認め合う社会づくり研究会資料（抜粋）>

【制度についての第1回研究会での御意見】

- ※1 届出制度とかネットで電子申請とか そういふことができたらいい
- ※2 個人情報は一元的に管理。情報を知っている人は少なければ少ないほどありがたい
- ※3 証明カードのように、いざという時にこれを出せば話が通じるようなものを持っておきたい

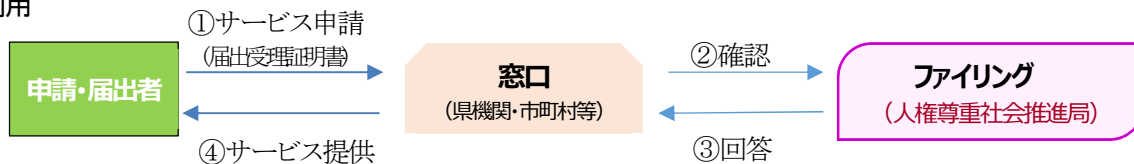


※赤字は研究会での意見反映箇所

■新たな試み

- a 県住の入居申込者で当該制度の利用希望がある方については、県住窓口から県（人権尊重社会推進局）にパートナー情報を報告。
- b 窓口での宣誓行為は求めず婚姻と同様に届出とし※1、届出書及び必要書類を電子申請※1・郵送・持参により、県（人権尊重社会推進局）に提出。
→上記abの情報は県（人権尊重社会推進局）で一元的に管理※2
→県は、届出者及び窓口から報告のあった者に届出受理証明書（希望者には携帯用カード）を交付※3
- c 同性カップルに対する行政サービスの提供を広めるため、積極的に市町村に働きかけて協定を締結する（県又は市町村の証明書等で互いのサービスを利用できるようにする）。

■利用



- ① サービス申請に必要となる二人の関係を確認する書類は、住民票に代えて、県が発行した届出受理証明書の写しを添付
- ② 届出受理証明書の写しの提出を受けた窓口は、県のファイリング情報と一致するか人権尊重社会推進局に確認
- ③ 人権尊重社会推進局は、ファイリング情報と照合し、適否を窓口へ回答
- ④ 窓口は、申請者へサービスを提供

三上紗也可選手（水泳・飛込）のパリ五輪出場内定について

令和5年8月21日

スポーツ課

本県の^{みかみさやか}三上紗也可選手（日本体育大学・米子ダイビングクラブ）が、7月21日に開催された第20回世界水泳選手権（福岡）において、飛込競技・女子3m飛板飛込で7位入賞を果たし、パリ五輪出場内定を決めました。

また、8月6日に開催された飛込ワールドカップ・スーパーファイナル（ベルリン）では、飛込競技・女子3m飛板飛込で準優勝し、ワールドカップでの日本初の銀メダルを獲得されました。

【第20回世界水泳選手権（福岡）での三上選手の成績】

○成績 予選 7/20（木）2位（52人中）予選通過
準決勝 7/20（木）3位（18人中）準決勝通過
決勝 7/21（金）7位（12人中）入賞
⇒パリオリンピック出場が内定

《決勝の上位選手》

優勝	CHEN Yiwon	（中国）	359.50点
2位	CHANG Yani	（中国）	341.50点
3位	WARE Pamela	（カナダ）	332.00点
7位	三上 紗也加	（日本）	305.25点

〔日本水泳連盟では、同大会にて「個人種目決勝進出者12位以内かつ日本人上位2名を内定とする」としており、今回の内定はこの選考基準をクリアしたものです。〕

【ワールドカップ・スーパーファイナル（ベルリン）での三上選手の成績】

○成績 予選 8/5（土）2位（16人中）予選通過
決勝 8/6（日）2位（12人中）銀メダル
⇒ワールドカップでは日本初の銀メダル
金メダルまで僅か1.55ポイント差

《決勝の上位選手》

優勝	CHEN Yiwon	（中国）	344.15点
2位	三上 紗也可	（日本）	342.60点
3位	CHANG Yani	（中国）	318.50点



【第20回世界水泳選手権（福岡）】



【ワールドカップ・スーパーファイナル（ベルリン）】

【三上選手が出場するパリ五輪「女子3m飛板飛込」の概要】

○期 間 2024年8月7日（水）15:00～17:00 予選
8月8日（木）10:00～12:00 準決勝
8月9日（金）15:00～17:00 決勝
※時間は全てフランス現地時間、日本との時差は7時間

○会 場 パリ・アクアティクスセンター
※パリ五輪で唯一の新設恒久施設

ねんりんピックはばたけ鳥取2024公式YouTubeチャンネルの開設について

令和5年8月21日
ねんりんピック・関西 WMG 推進課

令和6年10月19日（土）から22日（火）まで本県で開催される「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」に向け、全国から来県する選手団をはじめとした県内外への情報発信を行うため、大会公式YouTubeチャンネルを開設しましたので、報告します。

記

1 YouTubeチャンネルの概要

- (1) 目的：全国から来県する選手団をはじめ、県内外に広くねんりんピックや鳥取の魅力を動画で紹介する。鳥取大会を楽しみにしていただけるよう広く情報発信を進める。
- (2) URL：<https://www.youtube.com/@2024-nenrin/featured>
※ とりネット、大会公式HPからアクセス可能
- (3) 開設日：8月2日（水）

2 発信内容（予定）

(1) 来県者向けPR

ねんりんピックとともに、本県で楽しんでいただきたい様々なおすすめ情報を発信。事前におすすめ情報を提供することで、会期中の本県滞在時の観光計画などに役立ててもらい、滞在率や満足度のアップを目指す。

(例) “とっとり”の魅力紹介、おすすめスポット・グルメ紹介 など

(2) ねんりんピックの紹介

ねんりんピックについて興味を持ってもらえるよう、競技の魅力やねんりんピックに向けた関係者の思いなどを発信。大会への参画促進につなげるとともに、競技団体や選手のPRにより、競技人口の増加や関係者のモチベーションアップにもつなげる。

(例) 注目競技紹介（鳥取初開催種目のバウンスポール・eスポーツ、18年ぶりの開催となるローイング、本県発祥のグラウンド・ゴルフなど）、選手やスタッフの意気込みコメント、開催に向けた準備の進捗状況 など

3 第1弾動画：健康体操「咲花笑（さかえ）」

キャラバン隊結成イベント（6/7開催（大会500日前））で初披露した健康体操について、普及用動画を制作することで、いつでもどこでも視聴でき、多くの方に気軽に取り組んでいただける環境を整備した。市町村や競技団体をはじめ、県内のスポーツや健康づくりなどのイベント等において活用を予定。

誰でも簡単に実践できる体操であり、広く活用することで、健康づくりのきっかけづくりなど、ねんりんピックを契機とした健康への関心度アップにつなげる。



<制作>

Fitness Ja-んぐる（フィットネス ジャングル） 代表 澤 晶子（さわ あきこ）氏

※ 東部地区を中心に、健康体操や介護予防教室を主催するフィットネスクラブの澤代表が童謡ふるさとの曲に合わせ、誰でも簡単にできる健康体操を考案。

鳥取県西部総合事務所3号館(※)・米子市役所糶町庁舎の竣工について

(※) 県民の皆様にはわかりやすいよう西部総合事務所の建物名称を変更しました。【本館⇒1号館、新館⇒2号館、新棟⇒3号館】

令和5年8月21日
西部総合事務所県民福祉局

西部総合事務所米子保健所等（米子市東福原）の移転及び米子市役所糶町庁舎整備を図るため、県と米子市がPFI手法を導入して共同整備を進めていた県内初の県・市町村による合同庁舎がこの度竣工しました。（8月17日に米子市との共催で予定していた竣工式は台風17号による県内被害状況に鑑み中止としました。）類似業務を行う県と市の機関を近接配置することにより、住民サービスの向上を図っていきます。

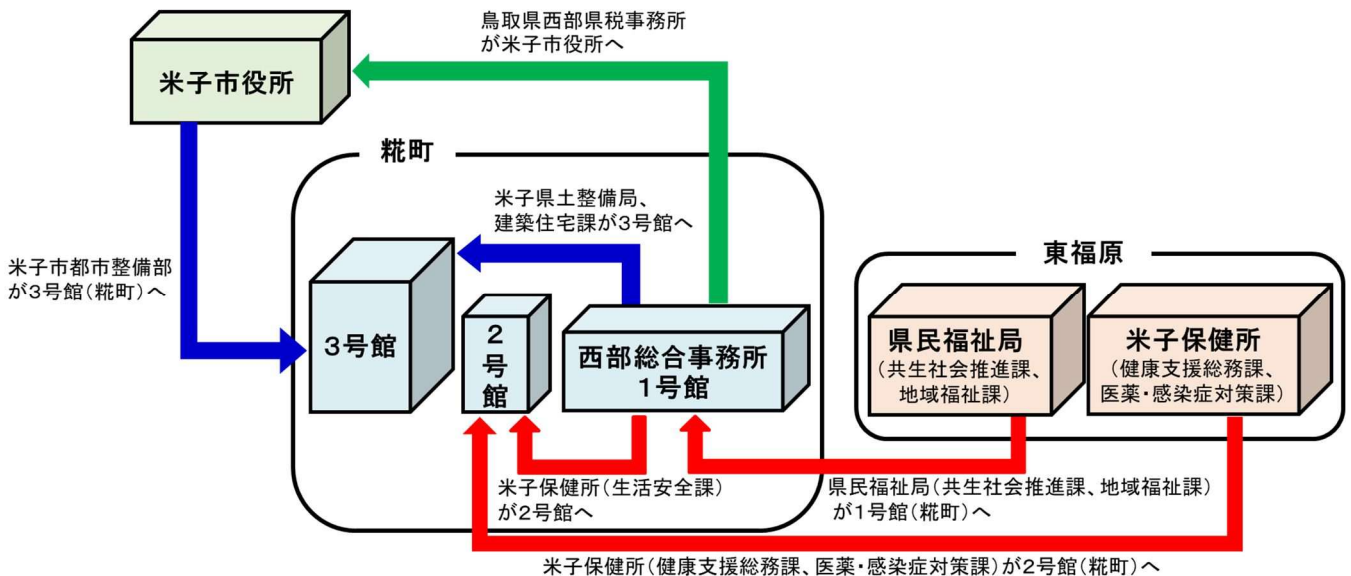
1 新庁舎の概要

- (1) 構造種別 鉄骨造3階建（一部4階建）
- (2) 延べ床面積／高さ 3,669.77㎡／17.2m
- (3) 事業期間 [設計・建設期間] 令和3年度～令和5年度
[維持管理期間] 令和5年10月～令和14年度
- (4) 総事業費 施設整備 約18.8億円(県13.3億円、市5.5億円)
維持管理等 約4.6億円(県3.3億円、市1.3億円)
- (5) 運営方式 PFIかつBTO及びRO方式(※)
- (6) 設計・施工・監理・維持管理
がいなSSJパートナーズ株式会社（特別目的会社）
～県内事業者が代表企業となった初めてのケース～



(※)・PFI(Private Finance Initiative):民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して、施設等の設計・建設、維持管理等を行う手法
・新棟の整備・運営:BTO方式(Build-Transfer-Operate)
・既存棟の改修・運営:RO方式(Rehabilitate-Operate)

2 関連庁舎の移転概要



3 新庁舎の特徴及び期待される効果

- (1) 県と米子市が共同で整備・利用する県内初の県・市町村による合同庁舎
 - 県・市双方の庁舎施設整備・維持管理費の低減（約9%・1.7億円の削減効果）
- (2) 県と市の業務連携による住民サービスの向上
 - 窓口のワンストップ化（建築行政相談、道路占用・許認可、県税・市税相談）
 - 災害対応力の強化（迅速な災害情報の共有による道路陥没、河川氾濫時などにおける初動対応の連携強化）
- (3) 「人と環境にやさしい庁舎」をコンセプトに設計
 - 「とっとりUD認証施設」第1号を最高ランク(★★★)で取得
 - 「BELS」(ベルス)の最高ランクである5つ星の獲得及びZEB Ready(ゼブ-レディ)認証取得
 - 建築環境総合性能評価システム「CASBEE(キャスビー)」Aランク取得
- (4) 災害に強い庁舎の実現
 - 耐震機能に優れた建築設計であるほか、太陽光発電設備によりバックアップ電力を確保し、非常用発電機の屋上配置により災害時においても庁舎機能を維持